環境との共創共生

環境コミュニケーション

方針・考え方

大和ハウスグループでは、環境に対する考え方や取り組みを社内外にわかりやすくお伝えするとともに、ステークホルダーとの対話を行い、環境活動の改善につなげていくことが大切だと考えています。また、従業員が日々接するステークホルダーの方と交わすコミュニケーションも重要と考え、社内報やイントラネットなどを通じて、従業員の環境意識や知識の向上、実践の推進に努めています。

ステークホルダーとともにコミュニケーションを展開(社外コミュニケーション)

有識者や投資家との対話

大和ハウス工業では、新たに方針や目標を設定する際や当社グループの活動内容について、適宜、有識者やNGOなど社外のステークホルダーと対話を行い、内容のさらなる充実を図っています。

具体的には、2015年度に環境行動計画「エンドレス グリーン プログラム 2018(EGP2018)」を策定する際、当社グループの重要課題の抽出については当社のお客さま(戸建住宅・商業施設)や、取引先、株主・投資家などと意見交換を実施。その後、抽出した重要課題が妥当かどうかを複数の有識者と確認し、当社グループのマテリアリティ(重要課題)を特定、EGP2018に反映させました。

また近年、機関投資家や社外の評価機関から当社グループの環境に関する考え方や取り組みについて、ご質問や評価をいただくことが増えました。そこで2017年度も、環境省が実施する「環境情報開示基盤整備事業」に継続して参加。当社のESG(環境・社会・ガバナンス)情報をシステム上のプラットフォームに公開し、意見交換を行いました。

さらに、2017年度は当社で初となる機関投資家向けESGスモールミーティングを開催(2回)、個別の意見交換会も行い(2回)、より一層相互理解を深めました。

今後も継続して、有識者や投資家等と対話することにより、当社グループについての理解の促進や検討プロセスの透明性を確保するとともに、最新の知見をふまえた広い視点からのご意見を社内に取り入れ、活動の実効性を高めていきます。

関連ページ P29 中期CSR計画策定における重要課題の特定プロセス
P173 行政・外部団体等との協働

環境Webサイトを軸とした情報発信の強化

当社グループでは、Webサイトやサステナビリティレポート、展示会、こども向け環境教育などを通じて、当社の環境に関する情報を発信しています。なかでもWebサイトは、さまざまなステークホルダーに見ていただける媒体として重要と考え、内容の充実を図っています。

当社グループの環境Webサイト「環境への取り組み」では、環境長期ビジョン「Challenge ZERO 2055」を説明する動画や、環境配慮商品と事例の紹介、地域特性に応じた世界の住宅を紹介する「世界の環境共生住宅」などのコンテンツを掲載しています。また、一般生活者の方を対象として、Webマガジン「SUSTAINABLE JOURNEY」を定期的に配信。より多くの方に世界のスマートシティやサステナブルな暮らし方に関する情報をお届けし、環境に配慮したライフスタイルの参考にして頂いています。

また、海外のステークホルダーに向け、英語版Webサイトの拡充も継続して実施。コンテンツのさらなる充実を図っています。

環境Webサイト

幼児向け環境教育の様子

環境社内報やイントラネットを活用して水平展開

当社グループでは、グループ内の環境先導事例や従業員のエコ活動などを紹介する環境社内報「We Build ECO Press」を発行(隔月)し、従業員の意識啓発を行っています。

また、社内イントラネットでは「エンドレス グリーン プログラム 2018」の説明や、環境教育資料の公開、環境イベントの周知などを行い、全社の環境活動を推進しています。

2017年度は、各事業所の取り組みで効果があった環境活動を項目ごとにとりまとめた「事業所環境活動事例」を追加公開し、内容を拡充しました。また、新たに経営層向けにタイムリーな環境情報を「環境経営ニュース」として定期的にメール配信し、環境経営のレベルアップに役立てています。

今後も、さらに内容を充実させて従業員の環境意識向上と環境活動の実践を推進していきます。

環境社内報
「We Build ECO Press」

事業所環境活動事例の公開